科目名			担当教員	
精神保健福祉の制度			菅原　好秀	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CT4152	2	1	RorSR（講義）	3年以上
履修登録条件		「福祉法学」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。		
生成 AI 利用レベル		レポート　：　B	試験（スクーリング含む）　：　C	

（注）本科目のスクーリングは 2012 年度以降の「更生保護制度論」と内容が一部重複する箇所があります。

科目の概要

■科目の内容

「メンタルヘルス」「更生保護制度と医療観察制度」を中心に学びます。特に、制度として精神障害者の支援に関連する制度、更生保護制度における関係機関や団体との連携、医療観察法の概要と精神保健福祉士の役割について、現状を踏まえて理解することを目標とします。なお、社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験問題を学問的視点から解説しますので、受験する方はスクーリング受講をおすすめします。

■到達目標

１）精神保健福祉の制度概要について説明することができる。
２）精神保健福祉の視点から、医療観察制度の制度趣旨と問題点について説明することができる。
３）精神保健福祉法の各入院制度の活用法を説明できる。
４）メンタルヘルス不調の原因と課題について説明することができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 30%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 70%

■教科書・参考図書

【教科書】（「福祉法学」「更生保護制度論」と共通）
菅原好秀著『司法と福祉』建帛社、2023 年

（最近の教科書変更時期）2023 年 4 月

※「福祉法学」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

※「福祉法学」が単位認定された方は、通信教育部 HP よりダウンロードできる「教科書特例配本希望届（無料）」をご利用いただき、郵送または FAX（または同様の内容を記載して ugr@tfu.ac.jp あてにメール）でお申込みください。

（スクーリング時の教科書）上記教科書を使用しますので、旧教科書を所持している方はスクーリング受講までに上記の教科書を購入してください。

【参考図書】

１）菅原好秀著『権利擁護と法』建帛社、2022 年

２）菅原好秀編著『福祉ライブラリ　福祉法学　第２版』建帛社、2020 年

３）菅原好秀著『リスクマネジメントと法』建帛社、2020 年

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

精神障害者は、あらゆる機会において差別対象とされ、偏見の犠牲になる可能性が高い。そのため、福祉の共通課題である人権の擁護あるいは保護が精神障害者福祉の課題といえます。

本講義では、精神障害者にとって、今日よりよく生きるために求められているのは何であり、そこにどのような法的問題が存在し、それに伴う権利擁護の問題の現状を明らかにし、これらの状況に対応するための権利擁護システム、特に更生保護の視点を踏まえた精神保健福祉に関する法的視点について学んでいきます。また、精神障害者に関して問題となった事例につき、判例の見解を踏まえて具体的な問題点を学んでいきます。

■講義内容

▶オンデマンドのみ

回数	テーマ	内容
1	精神保健福祉法の意義と内容	精神保健福祉法の意義と入院形態について
2	障害者総合支援法について	障害者総合支援法の趣旨、目的、支援システムについて
3	メンタルヘルス概論について	メンタルヘルス不調の意義、症状について
4	依存症について	依存症の特徴、対応策について
5	精神保健福祉と更生保護制度について	更生保護制度の意義と概要について
6	精神障害者と保護観察について	保護観察の意義、内容と課題について
7	医療観察制度について	医療観察制度の意義、内容と課題について
8	精神障害者の今後の課題について	精神障害者の支援策について
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

板書を中心に、教科書も用いながら進めます。しっかりと講義を聴き、ノートをとるようにしてください。

■スクーリング　評価基準

授業への参加状況（20%）とスクーリング試験（80%）で評価する。スクーリング試験は、教科書・ノート・配付資料の持込み可ですが、パソコンや携帯電話などの電子機器の持込みはできません。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験問題の法学の問題を『権利擁護と法』（建帛社）などでチェックしておいてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	精神保健福祉法の意義と内容	精神保健福祉法の意義と内容について学びます。	精神障害者をめぐる法律の歴史的変遷、精神保健福祉法の内容について説明できることが重要です。
2	精神保健福祉法のおける精神保健福祉士の役割	精神保健福祉法における精神保健福祉士の意義について学びます。	精神保健福祉士の意義と役割について説明できることが重要です。
3	精神保健福祉法の入院形態	精神保健福祉法の入院形態について学びます。	任意入院、医療保護入院、応急入院、措置入院、緊急措置入院について説明できることが重要です。
4	障害者総合支援法	障害者総合支援法の制度概要について学びます。	障害者総合支援法の制度概要について学びます。
5	障害者総合支援法の現状と課題	障害者総合支援法の現状と課題について学びます。	障害者総合支援法の現状と課題をふまえて今後求められる対応策について説明できることが重要です。
6	精神保健福祉の関する行政組織	精神保健福祉に関する行政組織について学びます。	保健福祉行政の特徴について理解することが重要です。
7	精神保健福祉と更生保護制度	精神保健福祉と更生保護制度の関係性について学びます。	更生保護制度を精神保健福祉の視点から説明できることが重要です。
8	医療観察制度と更生保護制度	医療観察制度と更生保護制度の関係性について学びます。	医療観察制度創設の経緯と背景、概要、目的について説明できることが重要です。
9	医療観察制度の現状と課題	医療観察制度の現状と課題について学びます。	医療観察制度の現状と課題をふまえて今後求められる対応策について説明できることが重要です。
10	メンタルヘルス	メンタルヘルスについて学びます。	メンタルヘルスの意義、症状、対応策について説明できることが重要です。
11	精神障害者の生活実態	精神障害者の生活実態について学びます。	精神障害者の生活実態を現実的視点から説明できることが重要です。
12	精神障害者の居住支援	精神障害者の居住支援について学びます。	精神障害者の住居、居住形態、課題について説明できることが重要です。
13	精神障害者と雇用・就労	精神障害者と雇用・就労について学びます。	精神障害者の一般雇用制度、労働保険制度、福祉的就労について説明できることが重要です。
14	発達障害者支援法	発達障害者支援法について学びます。	発達障害者支援法の目的、基本理念について説明できることが重要です。
15	依存症	依存症について学びます。	依存症の意義、症状、対応策について説明できることが重要です。

■レポート課題

1 単位め	精神保健福祉の視点から更生保護制度の概要を論じてください。
2 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

更生保護制度の保護観察、仮釈放、更生緊急保護、被害者等が関与する制度を中心に精神障害者に関する事例を挙げて言及してください。また、覚せい剤事犯者、ギャンブル依存症の対策について精神保健福祉の視点から具体的に言及してください。

【2 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

科目修了試験

■評価基準

当該科目の内容理解がなされているかが重要であり、論述の分量（1 問あたり 400～800 字程度）も評価対象となる。また、法の制度趣旨、意義を述べた上で、現実との関連から自分なりの視点から述べられていることも評価の対象となる。